



# 2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月10日  
代表取締役社長  
荒 健次



※ 本日の発表における会社名表記は、下記の略称を使用しています。

NISH	:	日清紡ホールディングス(株)
JRC	:	日本無線(株)
NJRC	:	長野日本無線(株)
UJRC	:	上田日本無線(株)
AMB	:	Alphatron Marine Beheer B.V.

1. 2016年度 第2四半期業績
2. 通期の見通し
3. 成長のための取り組み

# 1. 2016年度 第2四半期業績

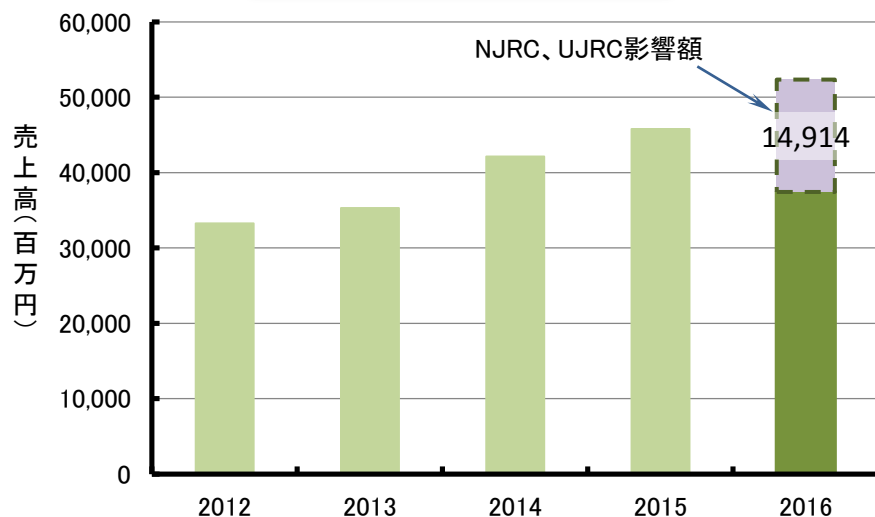
# 1.1 2016年度 第2四半期業績

2016年度よりNJRC、UJRCを連結化  
 計画レート: \$=120円 €=130円

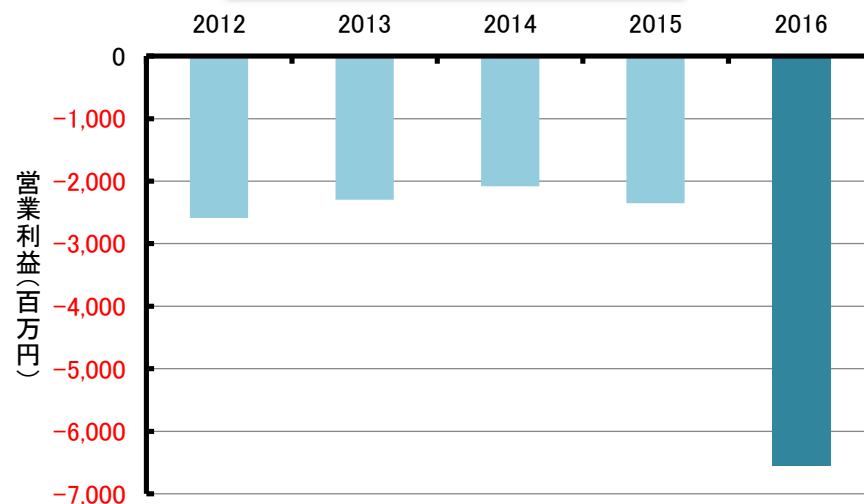
単位: 百万円

連結業績	2015年度 第2四半期 実績	2016年度 第2四半期 期初計画	2016年度 第2四半期 実績	NJRC、UJRC 影響額 (内数)	前年 同期比	期初 計画比
売上高	45,801	58,500	52,341	(14,914)	6,540	▲6,159
営業利益	▲2,353	▲2,500	▲6,550	(21)	▲4,197	▲4,050
経常利益	▲2,201	▲2,500	▲6,844		▲4,643	▲4,344
四半期純利益	▲2,078	▲900	▲6,619		▲4,541	▲5,719

第2四半期 売上高の推移



第2四半期 営業利益の推移



# 1.2 2016年度 第2四半期業績(セグメント別)



(上段) 売上高

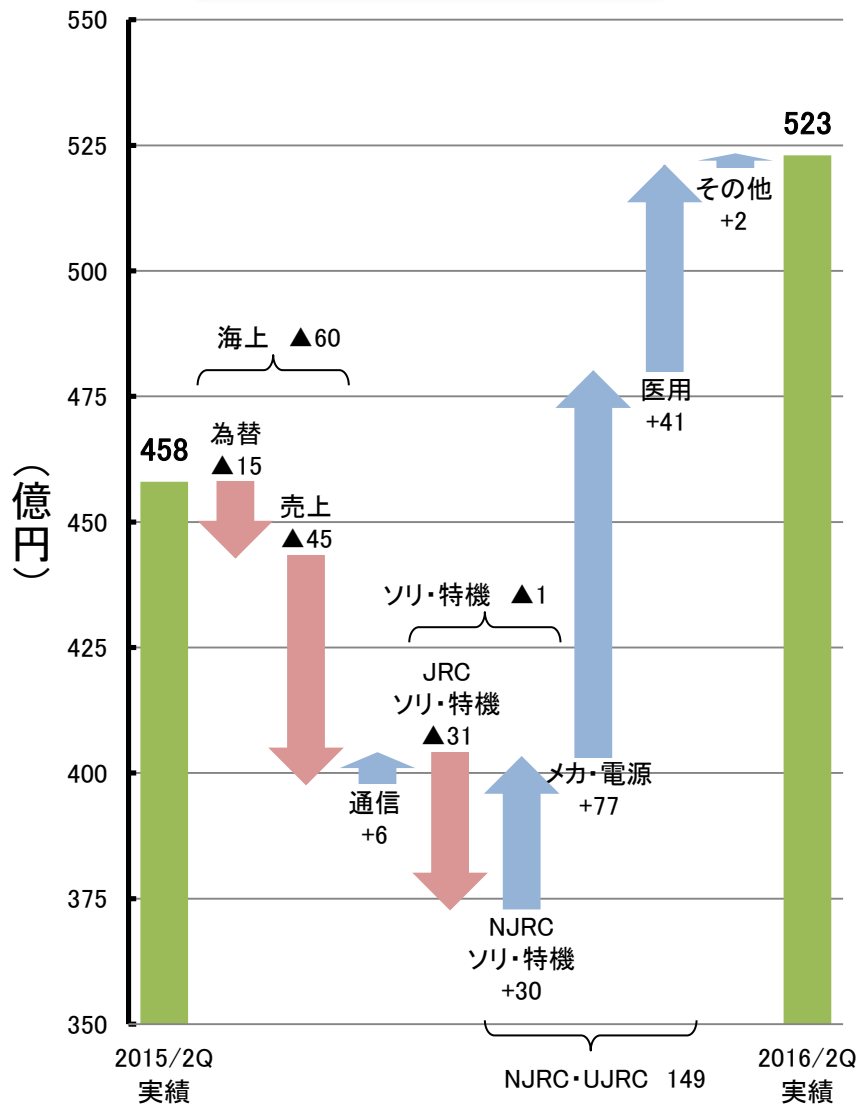
(下段) 営業利益

単位: 百万円

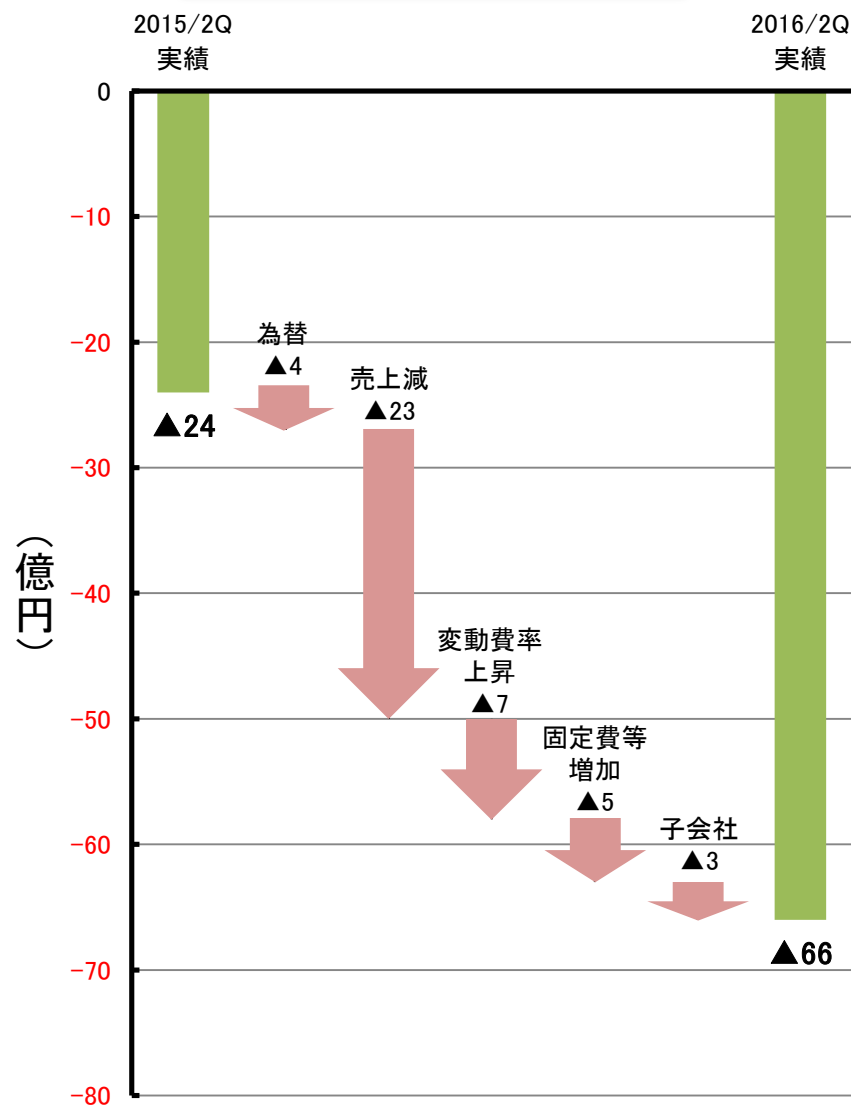
連結業績	2015年度 第2四半期 実績	2016年度 第2四半期 期初計画	2016年度 第2四半期 実績	NJRC、UJRC 影響額 (内数)	前年 同期比	期初 計画比
海上機器	22,298	22,500	16,268	(0)	▲6,030	▲6,232
	1,182	850	▲1,494	(▲39)	▲2,676	▲2,344
通信機器	5,894	6,000	6,484	(0)	590	484
	▲390	▲400	▲104	(0)	286	296
ソリューション・特機	16,578	17,200	16,430	(3,016)	▲148	▲770
	▲3,086	▲2,700	▲4,977	(146)	▲1,891	▲2,277
メカトロニクス・電源	—	7,900	7,770	(7,770)	7,770	▲130
	—	▲250	▲251	(▲251)	▲251	▲1
医用機器	—	3,800	4,127	(4,127)	4,127	327
	—	250	367	(367)	367	117
その他	1,029	1,100	1,260	(0)	231	160
	▲59	▲250	▲90	(▲203)	▲31	160
合計	45,801	58,500	52,341	(14,914)	6,540	▲6,159
	▲2,353	▲2,500	▲6,550	(21)	▲4,197	▲4,050

# 1.3 売上高・営業利益分析(前年同期比)

### 四半期売上高(前年同期比)

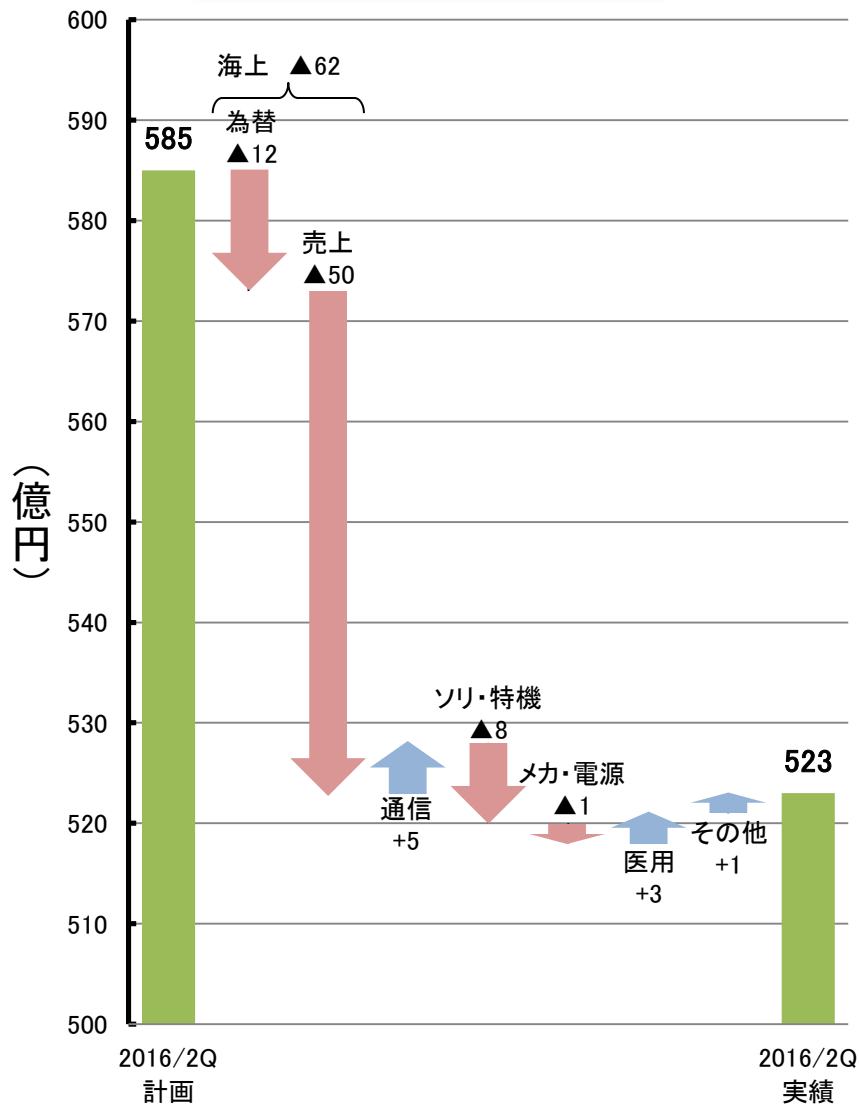


### 四半期営業利益(前年同期比)

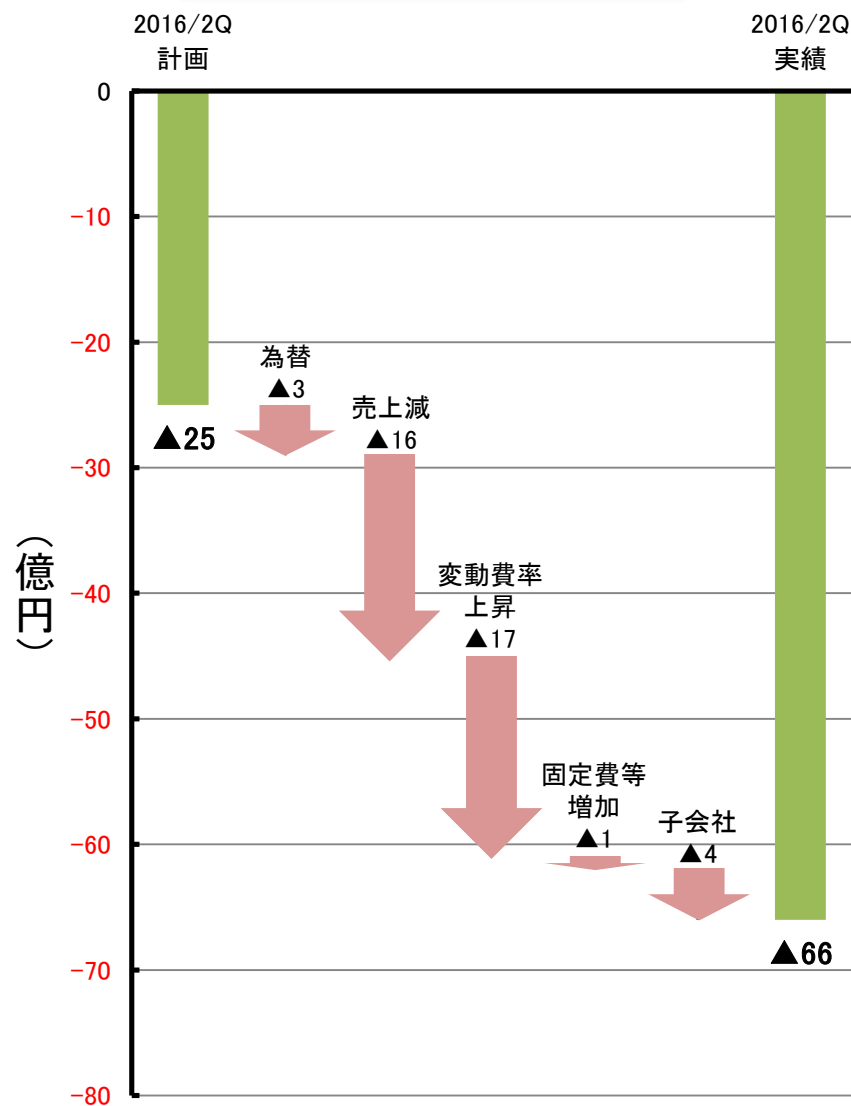


# 1.4 売上高・営業利益分析(期初計画比)

四半期売上高(期初計画比)



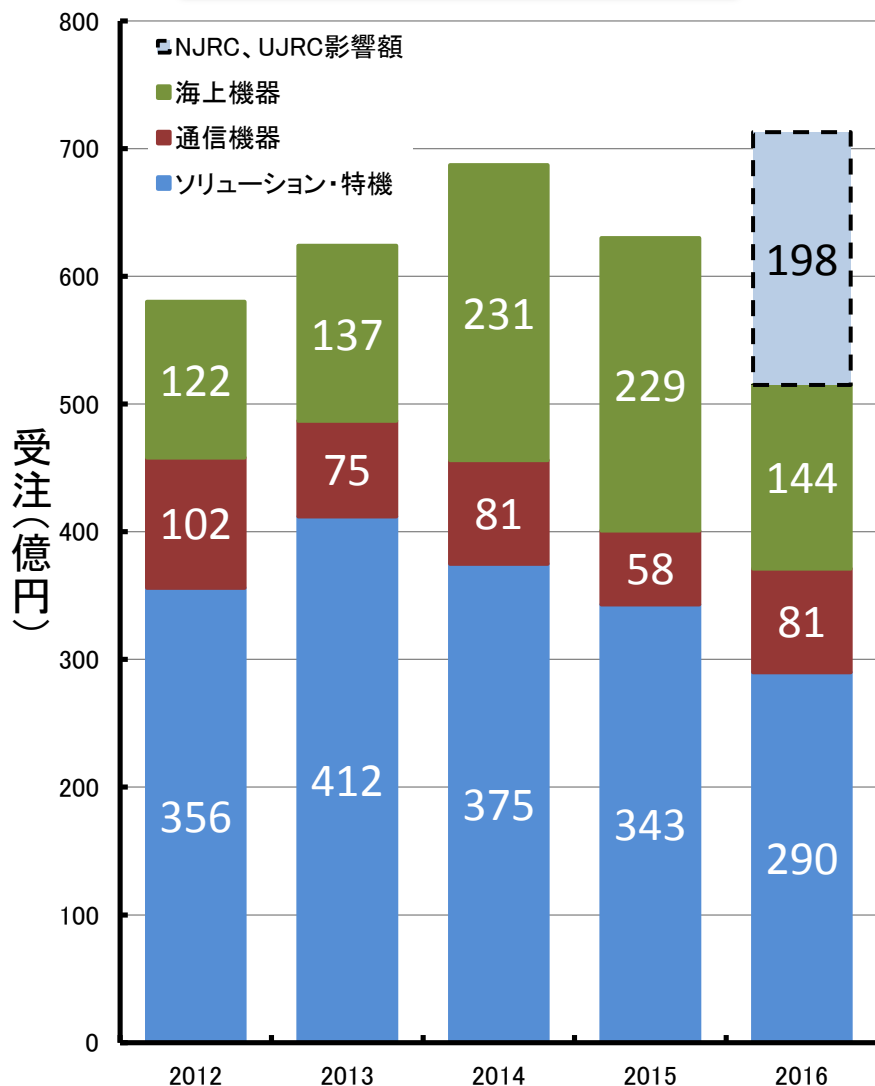
四半期営業利益(期初計画比)



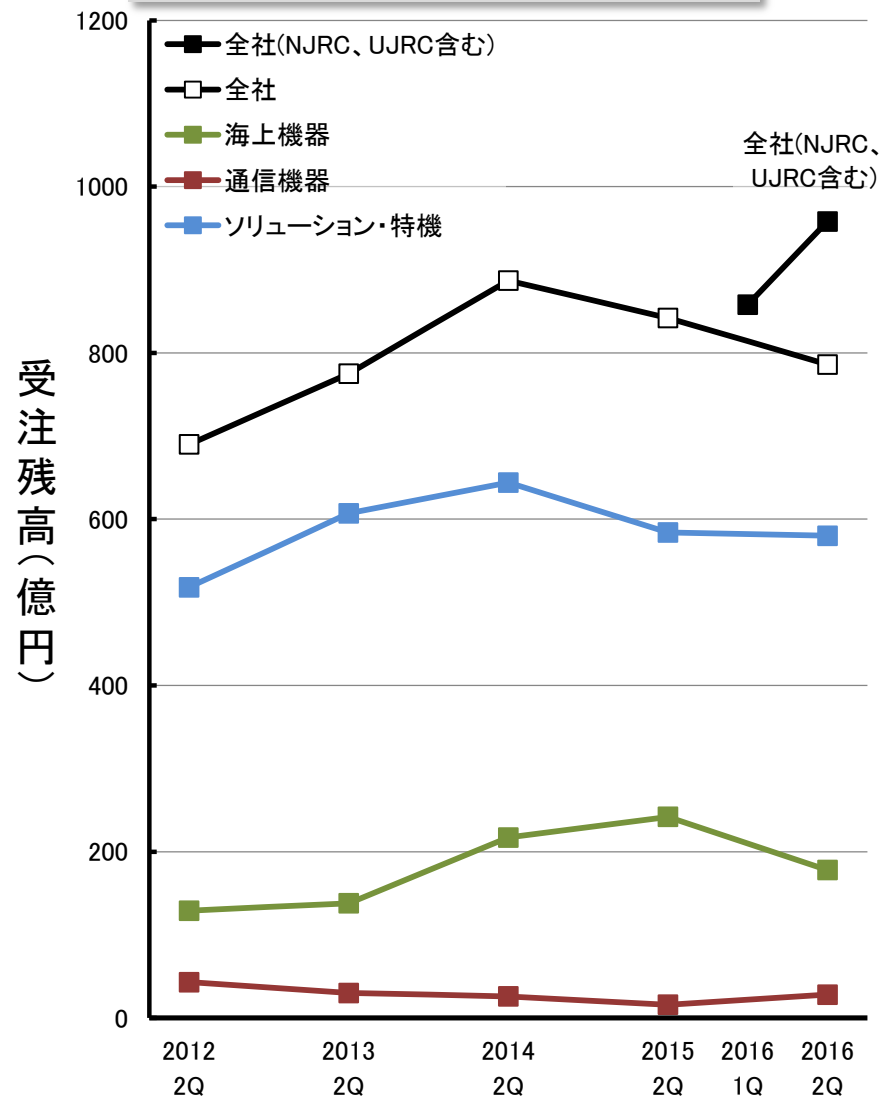


# 1.5 受注実績・受注残高

第2四半期 受注実績の推移(連結)



第2四半期 期末受注残高の推移(連結)



※2016年2QのNJRC、UJRC新規連結分には、前期末受注残引継分124億を含めていない

## 2. 通期の見通し

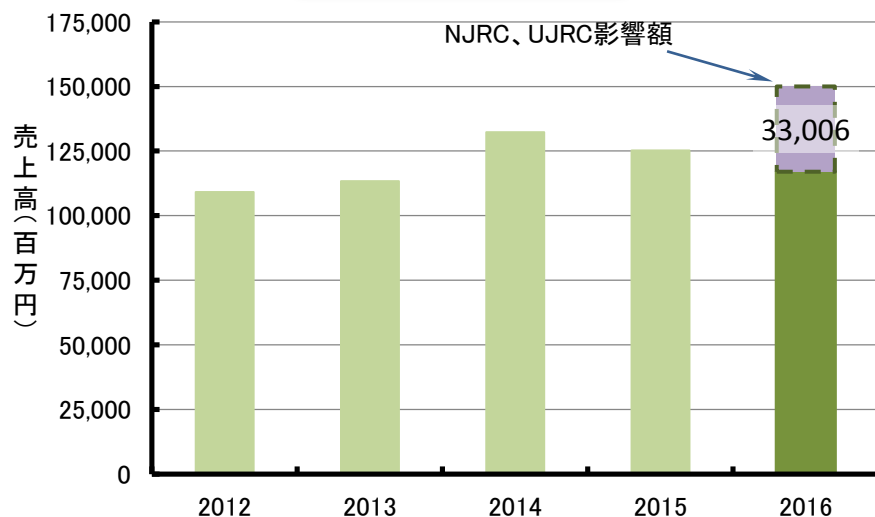
# 2.1 通期業績見通し

2016年度よりNJRC、UJRCを連結化  
 下期計画レート: \$ =105円 €=115円

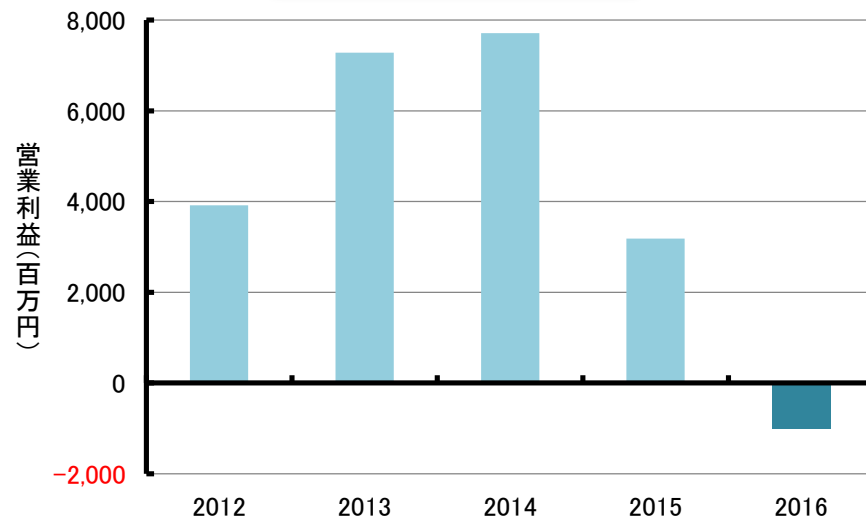
単位:百万円

連結業績	2015年度 通期 実績	2016年度 通期 期初計画	2016年度 通期 見通し	NJRC、UJRC 影響額 (内数)	前期比	期初計画比
売上高	125,192	165,000	150,000	(33,006)	24,808	▲15,000
営業利益	3,183	5,400	▲1,000	(797)	▲4,183	▲6,400
経常利益	3,414	5,300	▲1,600		▲5,014	▲6,900
当期純利益	1,661	4,300	4,500		2,839	200

通期 売上高の推移



通期 営業利益の推移



## 2.2 通期業績見通し(セグメント別)

(上段) 売上高

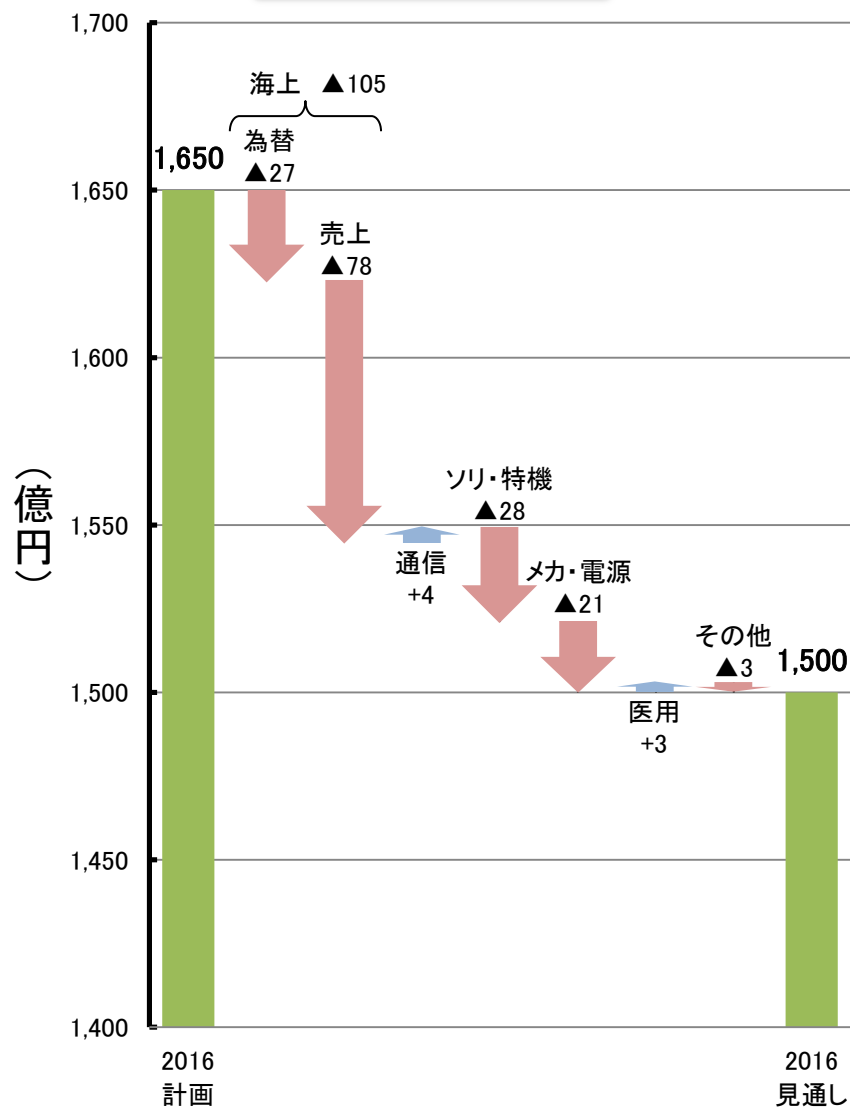
(下段) 営業利益

単位: 百万円

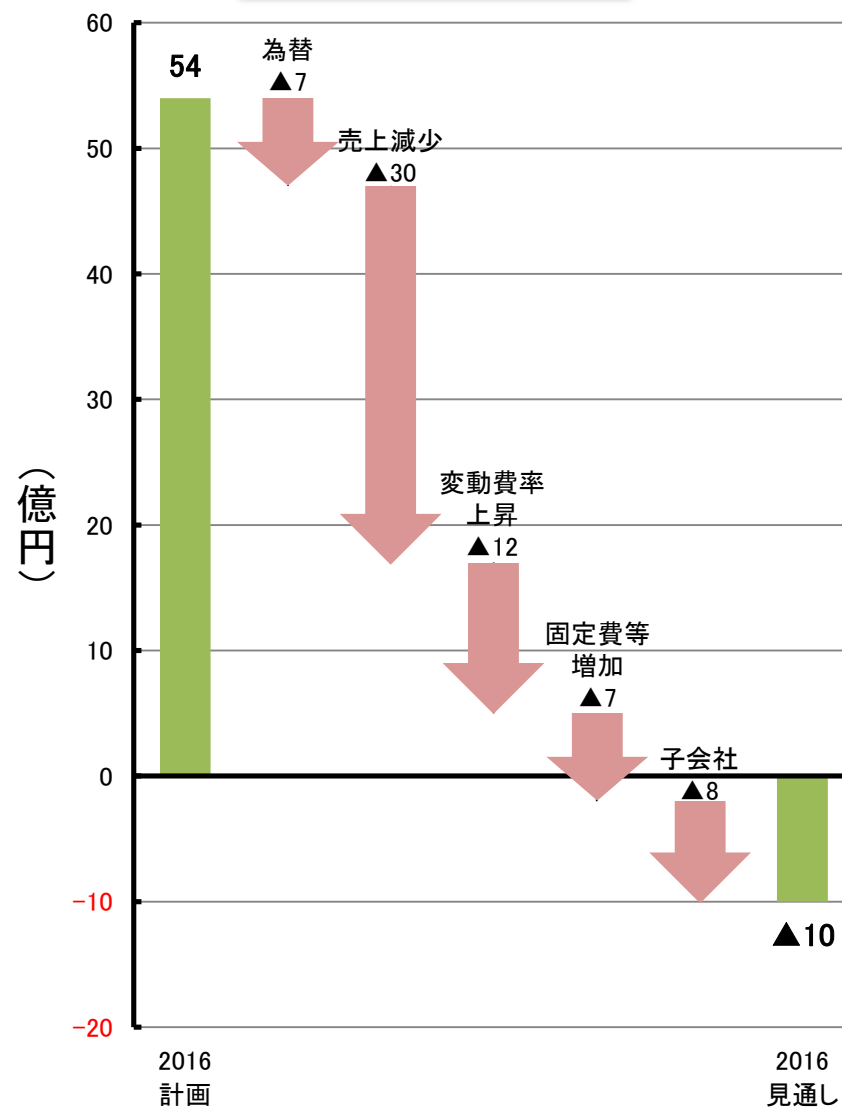
連結業績	2015年度 通期 実績	2016年度 通期 期初計画	2016年度 通期 見通し	NJRC、UJRC 影響額 (内数)	前期比	期初計画比
海上機器	45,360	45,500	35,000	(0)	▲10,360	▲10,500
	2,297	1,900	▲2,300	(4)	▲4,597	▲4,200
通信機器	13,587	13,900	14,300	(0)	713	400
	▲440	▲200	0	(25)	440	200
ソリューション・特機	64,145	76,800	74,000	(8,406)	9,855	▲2,800
	1,776	4,050	1,500	(774)	▲276	▲2,550
メカトロニクス・電源	—	18,500	16,400	(16,400)	16,400	▲2,100
	—	▲100	▲300	(▲300)	▲300	▲200
医用機器	—	7,900	8,200	(8,200)	8,200	300
	—	250	500	(500)	500	250
その他	2,098	2,400	2,100	(0)	2	▲300
	▲449	▲500	▲400	(▲208)	49	100
合計	125,192	165,000	150,000	(33,006)	24,808	▲15,000
	3,183	5,400	▲1,000	(797)	▲4,183	▲6,400

## 2.3 売上高・営業利益分析(期初計画比)

売上高(期初計画比)



営業利益(期初計画比)



- ◆世界的な海運不況(2、3年での回復は期待できない)
- ◆国内官公需の大きな伸びは期待できない
- ◆円高の進行



成長のための取り組みを加速する

### 3. 成長のための取り組み

### 海上機器事業

- ◆ 換装需要の取り込み  
拠点再編によるサービス強化
- ◆ 中小型船分野の取り組み強化  
中小型船、漁船向けに新製品を市場投入  
協業、M&Aを加速
- ◆ 情報サービス事業の拡大  
既存船への展開強化による売上の拡大と、  
安定した収益の確保  
AMBの通信プロバイダ事業参入  
(Tier1 partner として Inmarsat と契約締結)

ALPHATRON  
Marine





### 通信機器事業

#### ◆オートモーティブ事業の推進

開発要員をオートモーティブ事業に投入

試験研究費の積極投入

車載機

次世代車載レーダー

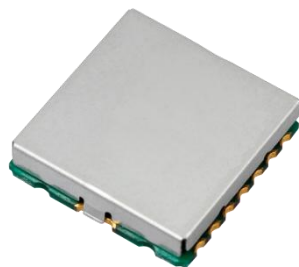
超高精度GPS

V2X車載機

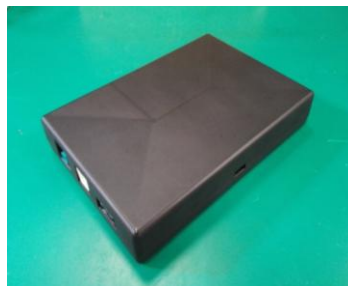
交通インフラ

車両感知レーダー

V2X路側機



超高精度GPS



V2X車載機



車両感知レーダー

### ソリューション・特機事業

#### ◆海外事業の拡大 販売拠点の拡充

駐在員事務所の現地法人化

現地パートナーとの協業推進

気象レーダー、防災システム、水河川システムの拡販

LTEシステムなどの拡販

(途上国における高速通信市場、北米市場など)

#### ◆民需ソリューション事業の拡大

電力・ガス、放送、鉄道市場での拡販

IoT情報サービスへの取り組み強化



### 技術開発

- ◆シリコンバレーに開発拠点を開設  
次世代ネットワーク技術の開発
- ◆ミリ波高速大容量通信技術の開発  
次世代規格の策定と技術開発
- ◆ゲリラ豪雨観測用気象レーダーの開発  
NISH中央研究所にて実証観測中  
ゲリラ豪雨予測実現に向け知見を収集



### 生産・物流

#### ◆ものづくり・しくみづくり改革

JRC、NJRC、UJRC 3社が一体となった生産改革の推進

投資金額:100億円(3年間)

生産モデルライン稼働

#### ◆関東物流センターの開設

NJRC、UJRCも含めた物流拠点集約

物流ネットワークの再構築

# 3.6 事業推進拠点



**長野事業所**  
(長野県・長野市、上田市)



**川越事業所**  
(埼玉県・ふじみ野市)



**中野本社**  
(東京都・中野区)



**マリンサービスセンター**  
(東京都・江東区)



**関東物流センター**  
(東京都・日野市)



**One-JRC**

ご清聴ありがとうございました。



## \* 注意事項 \*

- 本資料に記載されている、日本無線の計画・戦略・業績見通し等は、現時点における事業環境に基づく把握可能な情報から判断したものであります。
- 従いまして、今後の事業環境の変化により、実際の業績が業績見通しとは大きく異なる場合があることをご承知おき願います。